



ぎおんばら

学校教育目標
響き合い、輝かし合いなが
ら、共によりよく生きよう
とする子どもの育成

令和元年11月26日発行 発行者：谷田部 二三子



11月11日の朝、虹が出ました。祇園小の上にかかっているように見えたので、思わずパチリ！祇園小を祝福してもらえてい
るようで、この日は一日いい気分でした。

白黒での印刷では分かりませんよね。学校ホームページに載せ
た「ぎおんばら」で、ぜひご覧ください。

→ <http://www.school.shimotsuke.ed.jp>



下野市小学校陸上記録会

10月30日（水）、今年度新しく整備された大松山運
動公園陸上競技場において、下野市小学校陸上記録会が開
催されました。祇園小からは、5、6年生の代表27名が



参加し、芝生の緑がまぶしい
広い競技場を気持ちよさそう
に走っていました。また、他



校の選手達の姿を見て、刺激にもなったようでした。応援に駆けつけ
てくださった保護者の皆様、ありがとうございました。

小中交流音楽集会

10月31日（木）南河内第二中学校の生徒との交流音楽集会が
ありました。校内合唱コンクールで金賞と銀賞だった3年2組と3
年3組の生徒が、祇園小に来て歌を披露してくれました。曲に込め
られた思いを表現しようとして心をつなぐ歌う中学生の美しいハーモ
ニーに、すっかり魅了された子どもたち。「中学生のように歌えるよ
うになりたい」きっとそう思ったに違いありません。祇園小合唱団
による「Believe」や中学生と一緒に歌った「すてきな友達」は、
いつも以上に体育館に美しく響いていました。中学生の皆様、ありがとうございました。



ふれあい遠足



11月1日（金）、ふれあい遠足が行われました。これは、1～6
年生の縦割り班で公園へ行き、一緒にお弁当を食べたり遊んだりし
ながら、上級生はリーダー性を、下級生は他者への感謝の気持ちを
育み、望ましい人間関係を作ることや、社会における行動のあり方
を身に付けることを目的にしています。普段からプレイタイムやふれあい給食な
どで交流しているメンバーではありますが、2時間半たっぷり活動したことにより、お互いの距離がグンと縮ま
ったようでした。また、上級生が下級生を思いやる姿が随所に見られま
した。遊んだ後、みんなでゴミ拾いをして帰ってきました。



ギオリンピックで、「投げ」の名人に！

毎年恒例のギオリンピック。これまでは、「高鉄棒ぶら下がり」や「登り棒タイムアタック」などに挑戦していましたが、今年は、運動が苦手だと思える人も楽しめる競技を体育委員会が考えてくれました。その名も、「祇園投げる3種」。「フリスビー的当て」と「フリースロー3本勝負」と「ストラックアウト」のうち1種目でもOK。また一人何種目でも参加できます。祇園小の子の課題である「投げる」を楽しく鍛えることができそうです。



祇園小祭 ～地域と共にある学校を目指して～

11月9日（土）、祇園小祭が開かれました。これは、「地域と共にある学校をめざして」PTAの有志が主体となって運営するイベントです。第2回目となる今回は、バザーやハンドメイド販売、スライムづくり、野球やサッカー等のスポーツ体験コーナー、祇園かんぴ団（親の会）による腕相撲やボールすくい等のほかに、グリーンクラブによる「むかしあそびコーナー」、美波フオークアートサロンによる「トールペイント体験」など、地域の皆様からも協力をいただきました。また、ステージイベントでは、祇園小合唱部のほかに、「しもつけラボ」によるサイエンスショー、「むつみ愛泉わらべ太鼓」の演奏などが場を盛り上げてくれました。お父さんやお母さんに混じって、ボランティアとして参加する子どもたちもたくさんいました。「回覧板で見たので」と、わざわざお越しくださった地域の方もいらっしゃいました。笑顔いっぱいの楽しいひとときとなりました。皆様、どうもありがとうございました。



お父さんには負けないぞ！ うまく取れるかな～ 見て！けん玉乗ったよ！！ よく飛ぶ紙ヒコーキはね



世界で一つのコースターを どれがいいかな… お茶の色が透明に?! 息がぴったり！愛泉太鼓！

南河内第二中学校地区小中合同クリーン活動 ～地域の皆様と一緒に～

11月25日（月）、雨のために延期されていた祇園小・緑小・南河内第二中学校地区合同クリーン活動が、無事行われました。

祇園小が担当するのは、祇園小から祇園原公園及び二中までの遊歩道と、コスモス広場からペンギン公園までです。縦割り班ごとに分担された場所へ行き、中学生と合流。自己紹介をしてから作業開始です。中学生が箒や熊手で集めてくれた落ち葉を小学生が何度も抱えては袋に入れていきます。



大きな袋がみるみるうちにいっぱいになり、遊歩道がきれいになってきました。互いの距離が次第に縮まり、終わる頃には談笑する姿があらこちらで見られました。

保護者や近所の方も来て、一緒にやってくださいました。「子どもたちが一生懸命やってくれて、こんなにきれいになりました。ありがとうございました。」地域の役に立てた喜びも感じることができました。

